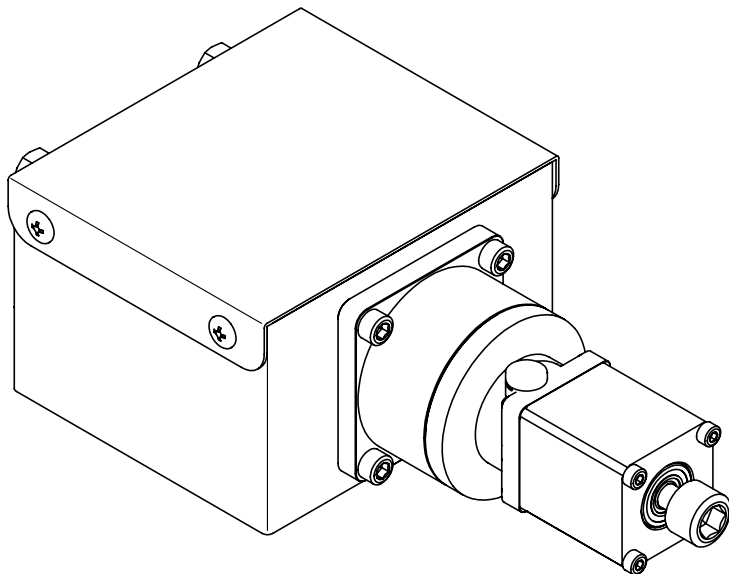


# ドラマキ EAT-20 取扱説明書



### 目次

・ 使用上の注意事項	2
・ 組立方法	2
・ マキエース MA 型 ハンドル部分解方法	3
・ マキエース MA 型 ドラマキ取付方法	4
・ チョイマキ MM-6070 ハンドル部分解方法	5
・ チョイマキ MM-6070 ドラマキ取付方法	6
・ 使用方法	7

- ・ この度は本製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
- ・ ご使用の際は本取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。
- ・ この説明書は本製品をご使用になる方が、いつでも参照できるように大切に保管し、すぐ取り出せるようにしてください。

ドラマキ  
組立説明動画  
はこちら

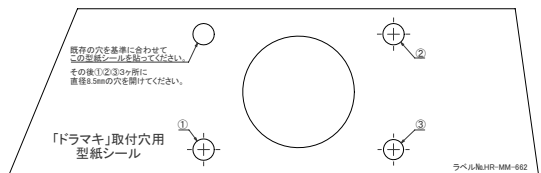
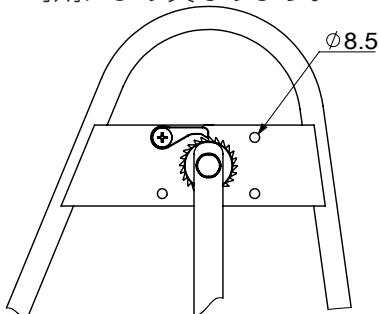


## 使用上の注意事項

- 本製品は「電動巻取用減速機」です。これ以外の用途には使用しないでください。
- 本製品を取り付ける「マキエース MA 型」「チョイマキ MM-6070」の取扱説明書及び電動ドリルドライバーの取扱説明書も併せてよくお読みのうえ、ご使用ください。
- ご使用前に各部の点検をし、破損・変形・ボルトのゆるみ等がないことを確認してください。異常を放置したまま使用すると、事故や本製品の破損原因となります。
- 改造したり加工をしないでください。また、弊社製品以外への取り付けはしないでください。性能や機能が損なわれ重大な事故を起こす恐れがあります。
- 本製品は電動ドリルドライバーの回転を 1/20 にする減速機です。
- 最大使用荷重は 40kg です。
- 巻取時の負荷（摩擦や引っ掛かり）がないようにしてください。
- 連続での使用はおやめください。減速機及び電動ドリルドライバーが熱をもち故障の原因になります。
- 作業する際は必ずクラッチ機能付き電動ドリルドライバーもしくはクラッチ機能付きマルチインパクトドライバーを使用し、必ずクラッチが作動する範囲で作業してください。ドリルモードで使用するとクラッチが作動せず、反動によりケガや本製品の破損原因となる恐れがあります。インパクトモード（打撃あり）での使用はしないでください。本製品の破損原因となる恐れがあります。
- この減速機に使用する電動ドリルドライバーはなるべく耐久性が高く高性能な機種をご使用ください。

## 組立方法

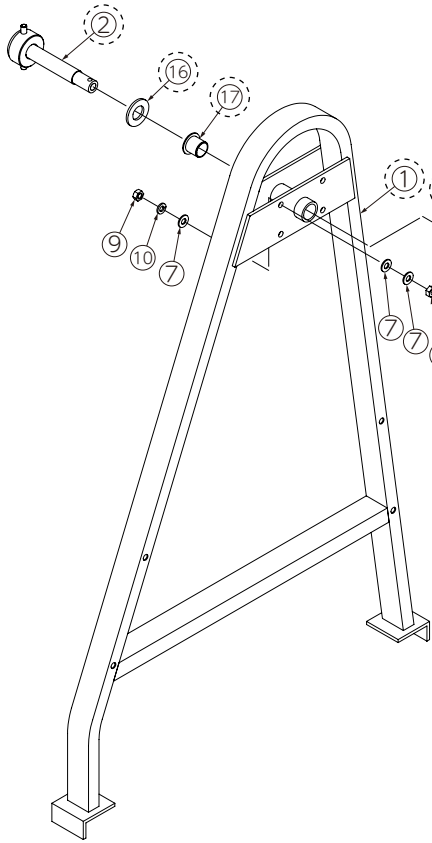
- 「マキエース MA 型」「チョイマキ MM-6070」のハンドル取り付け部が製造時期により異なります。



取付穴用型紙シール

- $\phi 8.5$ 穴がない場合は取付穴用型紙シールを使用して 3箇所穴を追加してください。
- シールを貼る際は、後述の分解方法を参照してフレーム単体にしてから既存の穴に合わせプレートにまっすぐ貼り付けてください。

# マキエース MA 型 ハンドル部分分解方法



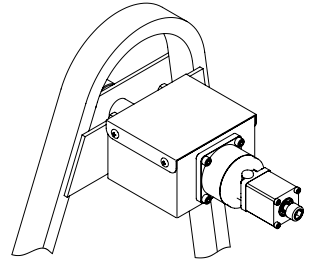
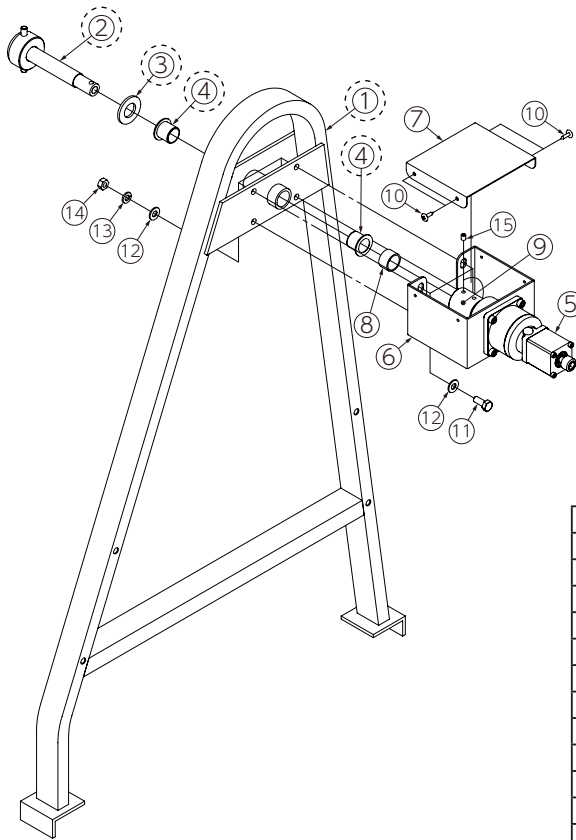
図の破線○で囲われている部品、①サイドフレーム 右、②巻取管受、⑬平座金 21×40×3.2t、⑱オイルスフランジブッシュはドラマキを取り付ける際に使用します。

番号	部品名称	数量
①	サイドフレーム 右	1
②	巻取管受	1
③	ハンドル	1
④	ホイール	1
⑤	ツメ	1
⑥	トラス頭小ネジ M8 × 55	1
⑦	平座金 8.5×18×1.6t	4
⑧	スペーサー φ8×10×20	1
⑨	六角ナット 1種 M8	2
⑩	バネ座金 M8	1
⑪	六角ボルト M12×50	1
⑫	バネ座金 M12	1
⑬	平座金 12.5×20×1.6t	1
⑭	六角穴付ホーローセット M6×5	1
⑮	六角穴付ホーローセット M6×8	2
⑯	平座金 21×40×3.2t	2
⑰	オイルス フランジブッシュ 80F-2020	2

## 手順

- ⑤ツメを①サイドフレーム 右から外します。
- ⑭六角穴付ホーローセット M6×5 を外してから、⑪六角ボルト M12×50 を緩め、③ハンドルを外します。
- ⑮六角穴付ホーローセット M6×8 を緩め、④ホイールを外し、②巻取管受を外します。

# マキエース MA 型 ドラマキ取付方法



ドラマキ取付イメージ

図の破線○で囲われている部品、①サイドフレーム 右、②巻取管受、③平座金 21×40×3.2t、④オイレスフランジブッシュは「マキエース MA 型」から取り外したものを流用してください。

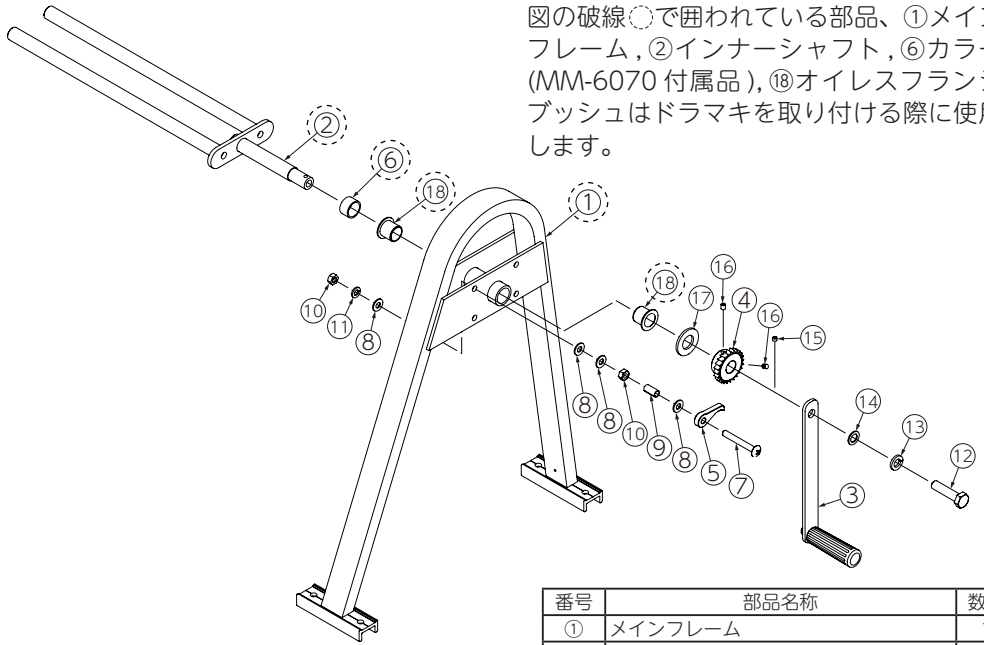
番号	部品名称	数量
①	サイドフレーム 右	1
②	巻取管受	1
③	平座金 21×40×3.2t	1
④	オイレス フランジブッシュ 80F-2020	2
⑤	ドラマキ 本体	1
⑥	ステー	1
⑦	カバー	1
⑧	カラー	1
⑨	カップリング	1
⑩	ピース シンワッシャー 4×16	4
⑪	六角ボルト M8×20	4
⑫	平座金 8.5×18×1.6t	8
⑬	パネ座金 M8	4
⑭	六角ナット 1種 M8	4
⑮	六角穴付ホーローセット M6×8	2

## 手順

- ⑥ステーから⑩ピース シンワッシャー 4×16 を外し、⑦カバーを外します。
- ②巻取管受、③平座金 21×40×3.2t、④オイレス フランジブッシュを①サイドフレーム 右へ取り付けます。
- ②巻取管受に⑧カラーを通し、⑨カップリングを接続します。
- ⑥ステーと①サイドフレーム 右を⑪、⑫、⑬、⑭のボルト類を使用して仮止めします。
- ⑤ドラマキ本体と②巻取管受がまっすぐ取り付いていることを確認し、②巻取管受を⑤ドラマキ本体側に押し付けながら、⑮六角穴付ホーローセット M6×8 を使用して固定します。
- 仮止めしていた⑪、⑫、⑬、⑭のボルト類を本締めします。
- ⑦カバーを戻し、⑩ピース シンワッシャー 4×16 で固定します。

# チョイマキ MM-6070 ハンドル部分分解方法

図の破線○で囲われている部品、①メインフレーム、②インナーシャフト、⑥カラー (MM-6070 付属品)、⑱オイレスフランジブッシュはドラマキを取り付ける際に使用します。



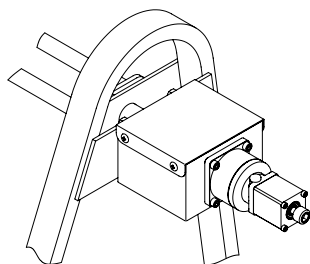
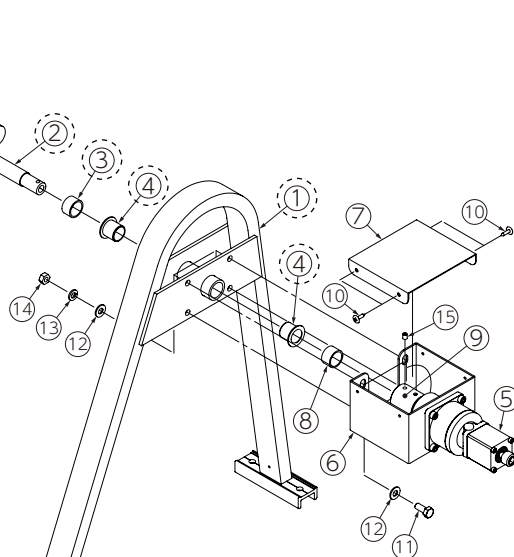
番号	部品名称	数量
①	メインフレーム	1
②	インナーシャフト	1
③	ハンドル	1
④	ホイール	1
⑤	ツメ	1
⑥	カラー (MM-6070 付属品)	1
⑦	トラス頭小ネジ M8×55	1
⑧	平座金 8.5×18×1.6t	4
⑨	スペーサー φ8×10×20	1
⑩	六角ナット 1種 M8	2
⑪	バネ座金 M8	1
⑫	六角ボルト M12×50	1
⑬	バネ座金 M12	1
⑭	平座金 12.5×20×1.6t	1
⑮	六角穴付ホーローセット M6×5	1
⑯	六角穴付ホーローセット M6×8	2
⑰	平座金 21×40×3.2t	1
⑱	オイレスフランジブッシュ 80F-2020	2

## 手順

- ⑤ツメを①メインフレームから外します。
- ⑮六角穴付ホーローセット M6×5 を外してから、⑫六角ボルト M12×50 を緩め、③ハンドルを外します。
- ⑯六角穴付ホーローセット M6×8 を緩め、④ホイールを外し、②インナーシャフトを外します。

# チョイマキ MM-6070 ドラマキ取付方法

図の破線○で囲われている部品、①メインフレーム、②インナーシャフト、③カラー (MM-6070 付属品)、④オイルスフランジブッシュは「チョイマキ MM-6070」から取り外したものを流用してください。



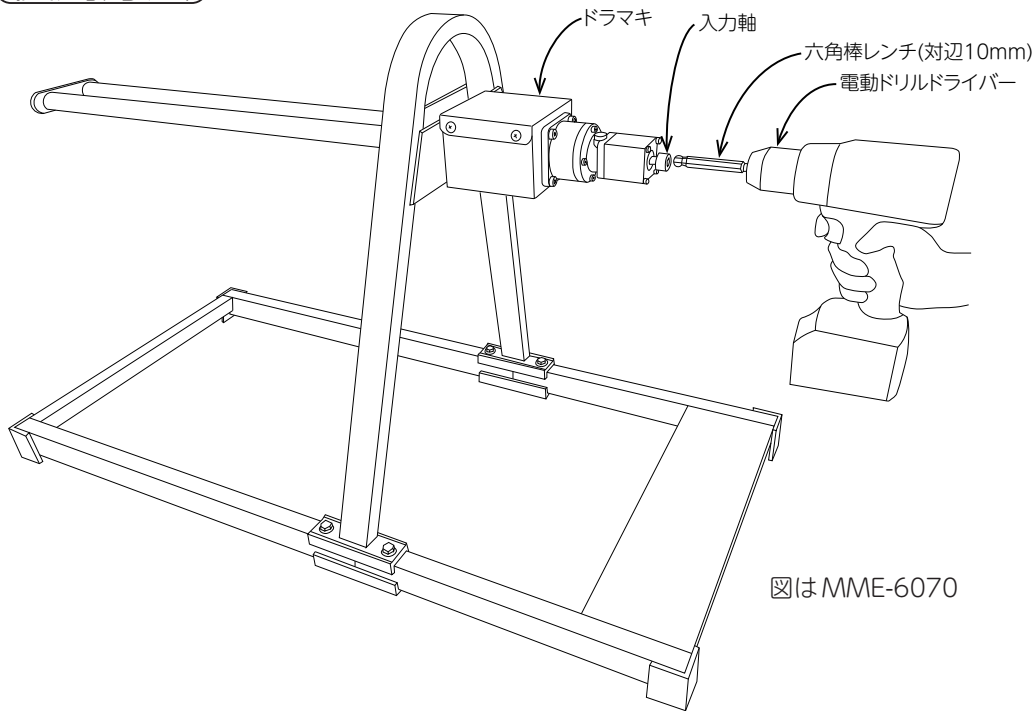
ドラマキ取付イメージ

番号	部品名称	数量
①	メインフレーム	1
②	インナーシャフト	1
③	カラー (MM-6070 付属品)	1
④	オイルス フランジブッシュ 80F-2020	2
⑤	ドラマキ 本体	1
⑥	ステー	1
⑦	カバー	1
⑧	カラー	1
⑨	カップリング	1
⑩	ピաս シンワッシャー 4×16	4
⑪	六角ボルト M8×20	4
⑫	平座金 8.5×18×1.6t	8
⑬	バネ座金 M8	4
⑭	六角ナット 1種 M8	4
⑮	六角穴付ホーローセット M6×8	2

## 手順

- ⑥ステーから⑩ピラス シンワッシャー 4×16 を外し、⑦カバーを外します。
- ②インナーシャフト、③カラー (MM-6070 付属品)、④オイルス フランジブッシュを①メインフレームへ取り付けます。
- ②インナーシャフトに⑧カラーを通し、⑨カップリングを接続します。
- ⑥ステーと①メインフレームを⑪、⑫、⑬、⑭のボルト類を使用して仮止めします。
- ⑤ドラマキ本体と②インナーシャフトがまっすぐ取り付けられていることを確認し、②インナーシャフトを⑤ドラマキ本体側に押し付けながら⑮六角穴付ホーローセット M6×8 を使用して固定します。
- 仮止めしていた⑪、⑫、⑬、⑭のボルト類を本締めします。
- ⑦カバーを戻し、⑩ピラス シンワッシャー 4×16 で固定します。

## 使用方法



- 作業をする際は身体や衣服の巻き込みに十分注意してください。
- 電動ドリルドライバーをクラッチが効く状態にして負荷がかかりすぎないようにしてください。クラッチの強さは使用しながら調整してください。
- 付属の六角棒レンチを電動ドリルドライバーに取り付け、電動ドリルドライバーを右回転（時計回り）に設定してください。
- 入力軸に電動ドリルドライバーを接続し、始めはゆっくりと電動ドリルドライバーを回転させ確実に巻き取れることを確認してください。
- 入力軸に六角棒レンチを接続する際、差し込みが不完全だと入力軸及び棒レンチが潰れる恐れがありますので注意してください。
- 連続で使用するとドラマキ、電動ドリルドライバー共に熱を持ちますので、途中で休ませながら作業を行ってください。

**HARAX**

ハラックス株式会社

〒 377-0008 群馬県渋川市渋川 990-1  
TEL 0279-23-5828/FAX 0279-23-2669  
ホームページ :<https://harax.co.jp/>